

二 労働團體トシテノ爭議

(一) 横浜船渠本會社爭議後報

十月一日出陣業職工等ハ朝來陸續トシテ爭議本部ニ参集シ  
午前十時迄ニ約千名ニ達シテカ前日ノ如ク幹部及役員ハ官本切  
斷ヲ見張給束維持ニ努メ又厚シク勸告補充ニ爲然業職等  
一三五名ヲ行商(行商陽一隊三五名)ヲ高ビリ

三十四會社重要職工代表トシテ會見ノ結果ハ十月三日會社  
員等ハ二時ニ以テ職工側ニ運動員等ハ眞剣トシテ若シモ  
折絶ノ場合ハ更ニ結束ヲ固ク心要トシ更ニ四ヶ所支部及休憩  
室ヲ借入レ團體ノ維要ノ要ヲ示シ

支部 橋下ニ四 朱島達送店方  
休養所 左野左番 戸松十藤 老方

休養所 高島町京濱運輸自動車會社事務所  
、 神奈川九 杉本忠吉方

爭議團ハ又「市民諸君に告グ」横濱在住労働者諸君ニ告グ  
「檄」等印刷物ヲ市内各所ニ配付シ市民ノ同情ヲ許シ且ツ勞  
働者ノ團結ニ努メタリ

船渠本會社ノハ蒸氣業組合員廿二名ハ爭議團ニ加入セシ

九月二十七日以來會社内ニ起臥シ從業員等タルニ爭議團員九名  
役等一旦帰宅ノ夕メ午前十時頃出門シタルニ爭議團員九名張リ  
テ追跡セラルルヲ以テ警戒員が保護退去ノ途中約三百人

團員九名中戸部警署前ニ於テ被保護者ヲ奪取ヲ  
圖リ石塊ヲ投テ或ハ棍棒ヲ振廻ハレ正服復ニ組付テ等々暴行  
アリ主謀者神宮司進去外ニ名模東セラレタリ  
此日出勤者三千六百五十名ヲ算シタルニ實際ノ出勤者  
14